

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス若林		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 11日		～ 2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2025年 12月 11日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化していない	活動が固定化しないように毎月新しいレクリエーションを考案し、取り入れている。	児童一人一人に合わせたレクリエーションを今後も考案していき、出来る事を増やしていく事に繋げていく。
2	事業所の職員から共感的に支援されている。	日々保護者様とのコミュニケーションや連絡帳等による情報共有を行いながら、	送迎時の保護者様とのその日起きた出来事などの情報共有を密に行っていく。
3	児童が安心感を持って通所している。 通所を楽しみにしている。	日々のレクリエーションで児童が楽しく参加できるものを提供している。	児童一人一人が出来る事を増やしながらかお友達との交流を深められるレクリエーションを提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HPやSNS等で活動の様子が見られない。	ブログによる毎週の活動内容の発信が無くなってしまった。	行事予定については毎月レクリエーション表を配布させていただきます、日々のレクリエーション時の活動については連絡帳や、送り迎えの際にご報告させていただきます。
2	利用者数が多いと狭く感じることもある。	体の大きな児童がいる日や、椅子や机が出ている。	利用者数が多い場合には、時間を決めて公園や外出に行くことで解消していきます。
3	追加のご希望や週枠を変更が難しいことが多い。	卒業生が居なかった為、週枠を追加することが難しかった。	今年から卒業生が出る為、調整を行っていきます。